国際法(教職)

科目ナンバリング ESS-205
選択 2単位

五十嵐 卓司

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、教職課程履修者の「教科に関する専門科目」の1つである。授業では、中学校社会科の公民分野及び高等学校政治経済・現代社会のなかで、取り扱われている国際法に関わる事柄についての学習を通じ、教科教育に必要な国際関係、国際法に関する知識の習得を目指す。

2. 授業の到達目標

中学校社会科の公民分野や高等学校政治・経済などの授業設計に必要な見方・考え方を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業課題等(50%)、2～3つのレポート課題などの成績(50%)を総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

大森正仁 よくわかる国際法 第2版 ミネルバ書房

5. 準備学修の内容

- 1) 指定教科書を用意し、目を通しておくこと。
- 2) 知識の習得はもちろん、社会科の授業を作るための思考力・判断力・表現力の修得するため、新聞などをよく読むこと。

6. その他履修上の注意事項

- 1) 遠隔授業を受講するための整ったパソコン環境を準備して下さい。
(スマートフォンでの受講は避けて下さい。)
- 2) 指定教科書を必ず用意して下さい。
(毎回の授業課題に取り組むためにも必要です。)
- 3) 第一回目のオリエンテーションは必ず受講して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 国際法とは(主権国家・国際社会の成立)
- 【第3回】 2度の大戦と国際機関
- 【第4回】 国際連合の役割
- 【第5回】 国際連合とPKO
- 【第6回】 自衛隊とPKO
- 【第7回】 冷戦と軍拡競争
- 【第8回】 冷戦と核不拡散条約
- 【第9回】 Hibakushaと核兵器禁止条約(1) ヒロシマ・ナガサキを通して
- 【第10回】 Hibakushaと核兵器禁止条約(2) 条約採択の背景
- 【第11回】 模擬国連(1) 模擬国連とは
- 【第12回】 模擬国連(2) ポジションペーパーの作成
- 【第13回】 日本と国際法(1) 戦後補償と国際法
- 【第14回】 日本と国際法(2) 従軍慰安婦問題と国際法
- 【第15回】 日本と国際法(3) まとめ